

# 1984

シリーズ  
**とやま20世紀**

昭和59年3月18日(日)

## 県民の期待を乗せ、テイクオフ 富山空港ジェット化

滑走路の延長工事が完成した富山空港にこの日、待望のジェット機が就航した。一番機の到着前に行われた開港式では中沖知事が力強く開港を宣言。送迎デッキや周辺の堤防には3千人の県民が詰めかけた。東京への所要時間が2時間から1時間に短縮され、日帰りビジネスが可能になったことから、年間利用者数はそれまでの15万人から40万人へと大幅に増加、県内経済や県民の暮らしに与えた効果は計り知れない。利用者はその後も増加を続け、現在では年間約100万人、6つの国内路線と3つの国際路線を有し、地方自治体が管理する空港としてはトップクラスの実績を誇る。富山空港のジェット化は、富山県の可能性を大きく広げる出来事であった。



開港式に詰めかけた人々